

# 「水戸市第7次総合計画

## 「みと魁・Nextプラン」

がスタートします



水戸市長 高橋靖

本年3月に、水戸市のまちづくりの基  
本方針となる「水戸市第7次総合計画  
みと魁・Nextプラン」を策定しまし  
た。総合計画の策定にあたっては、多く  
の人に共感していただけるよう、市民  
1万人アンケートをはじめ、さまざま  
な形で市民の皆様にご参加いただき、  
市民ニーズを反映しながら計画をつくり  
上げてまいりました。この場を借りて、  
ご協力いただきました方々に深く感謝申

し上げます。  
人口減少の進行、時代とともに移り変わ  
る価値観、複雑・多様化する市民ニーズな  
ど、社会は著しく変化しています。そのよ  
うな新しい時代に対応するため、未来を創  
ることもたちの育成を最重要政策として、  
水戸ならではの個性と魅力を際立たせる政  
策に優先的、重点的に取り組む計画とい  
いました。  
私は、市民の皆様とともに、水戸に暮ら  
すすべての人が安心して暮らし、幸せを感  
じられるまち、将来にわたって持続的に発  
展するまちの実現に全力を尽くしてまいり  
ます。今後とも、市民の皆様にご協力をい  
ただき、市民と行政との協働によって、計  
画を着実に実行してまいります。

### 総合計画ができるまで

市民の皆さんと  
一緒に考えました！

総合計画を策定するにあたっては、市民と行政との協働による計  
画づくりを進めるため、市民1万人アンケートをはじめ、大学生に  
よるまちづくり提言、市民懇談会、意見公募手続などを実施しまし  
た。たくさんの市民の方から、ご意見、アイデアが寄せられました。  
ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。



水戸市総合企画  
審議会



大学生による  
まちづくりプレゼン



未来を描く・  
みと・市民討議会



魁のまちづくり  
市民懇談会



未来の水戸を描く  
絵画・作文コンクール



市民1万人アンケート

10年後、皆さんはどんな未来を描いていますか？水戸  
はあなたにとって、どんな場所になっていますか？  
10年後の未来に向け、まちづくりの基本方針をまとめ  
た「水戸市第7次総合計画—みと魁・Next  
プラン」がスタートします。  
問合せ／政策企画課（☎232・9104）



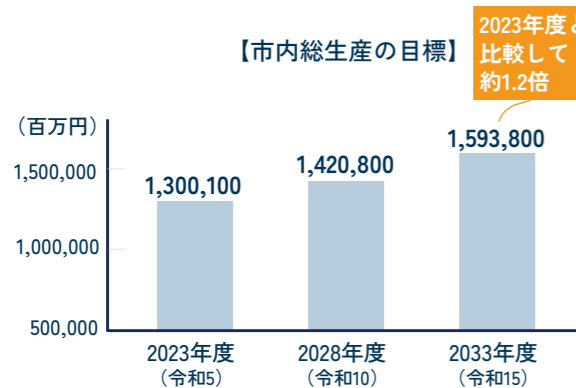
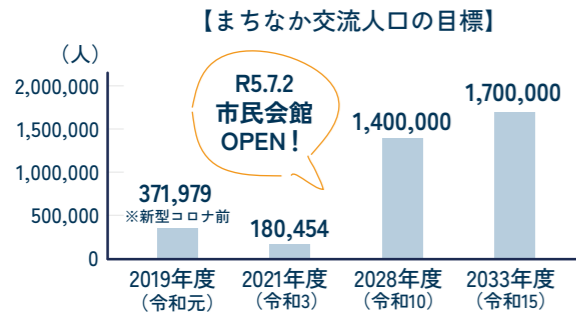
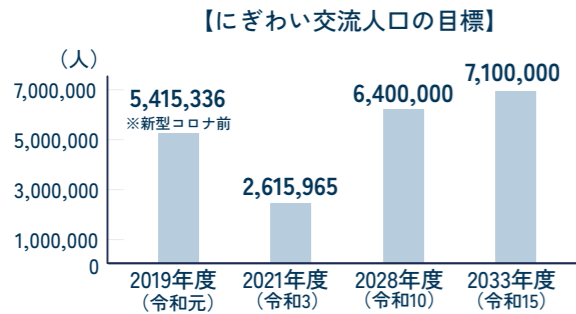
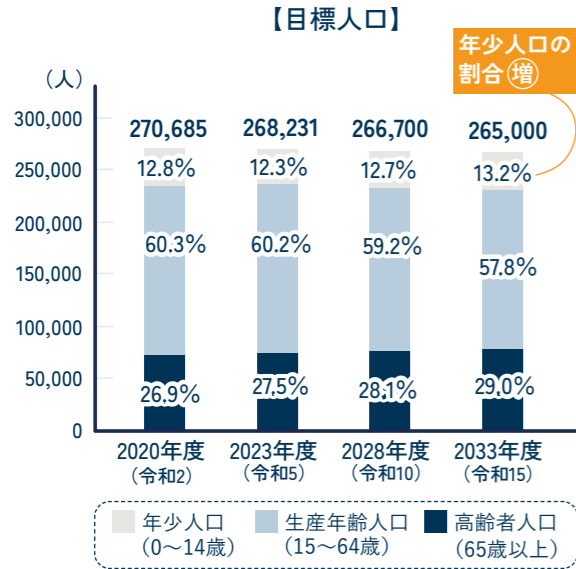
# 人口と経済の展望

将来都市像を実現することで達成を目指す指標です。

**目標人口**  
2033(令和15)年度 ▶ **265,000人**

国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠すると、本市の2033年の人口は260,870人となっており、10年間で約7,400人の人口減少が見込まれています。このような中でも、持続的に発展する都市としていくため、人口減少を抑制していくことが必要です。

そのため、安心して子どもを生み育てられる環境づくりを推進するとともに、若い世代から選ばれる都市づくりに取り組み、人口流入の促進、人口流出の抑制を図ります。



## 目標交流人口

**にぎわい交流人口**  
2033(令和15)年度 ▶ **710万人**

※子育て支援施設やスポーツ施設などの魅力発信交流拠点やイベントの来場者数を基本に設定。

**まちなか交流人口**  
2033(令和15)年度 ▶ **170万人**

※市民会館など、まちなかの拠点における来場者数を基本に設定。

本市のさまざまな地域資源を活用して新たな活力、にぎわいを生み出し、経済効果を高めていくため、経済発展、地域経済の活性化を目指す上での指標となる「にぎわい交流人口」と「まちなか交流人口」を定めます。

## 市内総生産目標

**対前年度成長率**  
2033(令和15)年度 ▶ **2.5%**

地域経済の回復を図るとともに、さらなる活性化に資する施策を展開します。あわせて、交流人口の拡大による経済効果を高めるとともに、企業立地や設備投資のさらなる促進などを図ります。

10年後の  
水戸市が目指す将来都市像

こども育む 暮らし楽しむ  
みらいに躍動する 魁のまち・水戸

将来にわたって発展し、  
暮らしたいと思える都市

実現に向けて



## 都市づくりの 基本理念

水戸市は、社会の変化が著しい、新しい時代に対応し、さまざまな選択肢から選ばれるまちとなっていくため、水戸の個性と魅力を伸ばしながら、「将来にわたって発展し、暮らしたいと思える都市」を目指します。

その実現の原動力となるのは、「人」であり、水戸の未来を創っていくすべての「こどもたち」をまち全体で育てることに最重点で取り組んでいきます。あわせて、豊かな暮らしを実現する「経済発展」とともに、「安心」して暮らせる環境づくりを進めていきます。

そして、これらの3つの取組の好循環を創出し、明るい未来を展望できる都市づくりを推進していきます。

## 総合計画とは？

総合計画は、都市づくりの基本方針であり、水戸市における最上位計画となるものです。

市民と行政の協働のもと、計画的な行政運営を進め、将来にわたって発展し、暮らしたいと思える都市づくりの実現を目指します。

### 総合計画の進行管理

施策の実施に向けた年次計画である3か年実施計画を策定し、毎年度ローリングによる適切な進行管理を行い、総合計画の着実な推進を図ります。

計画の推進にあたっては、市民懇談会や市政モニターにおける意見、提案など、市民意向の把握に努めながら、若い世代をはじめ、市民の皆さんとの協働によるまちづくりを進めていきます。

期間 10年間

2024年度(令和6) ▶▶▶ 2033年度(令和15)

### 基本構想

水戸市の目指す将来都市像を描き、実現するために必要な施策の大綱を定めるもの

期間 前期・後期 各5年間

前期計画  
2024年度(令和6) ▶▶▶ 2028年度(令和10)

### 基本計画

将来都市像の実現のための具体的施策や到達を目指す目標水準を定めるもの

# 重点プロジェクト

将来にわたって発展し、暮らしたいと思える都市を実現するための原動力となる「人づくり」に焦点を当て、以下の2つを「重点プロジェクト」として設定しました。

## 「重点プロジェクト」の意義

- 水戸の個性と魅力を伸ばし、水戸ならではの特色を打ち出す施策への重点化を図る
- 横断的な推進体制のもとで、優先的かつ集中的に取り組み、着実に成果を上げる

## ～水戸の未来をリードするこどもたちを育む～ みとっこ未来プロジェクト

Mission 1

### 【目指す姿】

- 子育て世帯にやさしく、安心してこどもを生み育てることができ、若い世代に選ばれるまち
- 「まちの未来」そのものであるこどもたちをまち全体で育み、こどもがのびのびと育つまち

### 【戦略的な取組】

#### 経済的負担の軽減

- 出産・子育て応援ギフトによる妊娠時、出産後の支援
- 0～2歳児の保育料の軽減、段階的無償化
- 市立小学校給食費の無償化
- 市立中学校給食費無償化の継続

など

#### 相談・支援の充実

- 妊婦や子育て世帯への寄り添い支援(伴走型相談支援)
- こども・子育て関連手続きなどのDXの推進
- 放課後児童の居場所づくり

など

#### こどもが活動しやすい環境づくり

- こどもの挑戦を応援する仕組みづくり
- 新たなつながりの場づくりの推進
- こどもの主体性を尊重する仕組みづくり

など

## ～住みたい、ずっと住みたいまちをつくる～

## 若い世代の移住・定住加速プロジェクト

Mission 2

### 【目指す姿】

- スタートアップ支援、多様な働く場の創出などに取り組み、若い世代の挑戦・活躍を応援し、成長し続けるまち
- 「若い世代が生き生きと活躍できる場所」としての水戸の魅力を発信し、二地域居住などの多様なライフスタイルに応じて、豊かに楽しみながら暮らすことができるまち

### 【戦略的な取組】

#### 若い世代が魅力を感じる多様な働く場の創出

- 切れ目のない創業・スタートアップ支援
- 中小企業の成長支援
- 企業誘致の推進
- ワーク・ライフ・バランスの推進

など

#### 若い世代に届くシティプロモーションの充実

- 高校生、大学生などから声を聴く機会の充実
- 若い世代に伝わる手法による情報発信
- 魅力ある働く場のPR
- 移住体験ツアーの実施などによるPR
- 若い世代の「みとりターン」の促進強化

など

## 水戸らしい地域拠点ネットワーク型コンパクトシティ

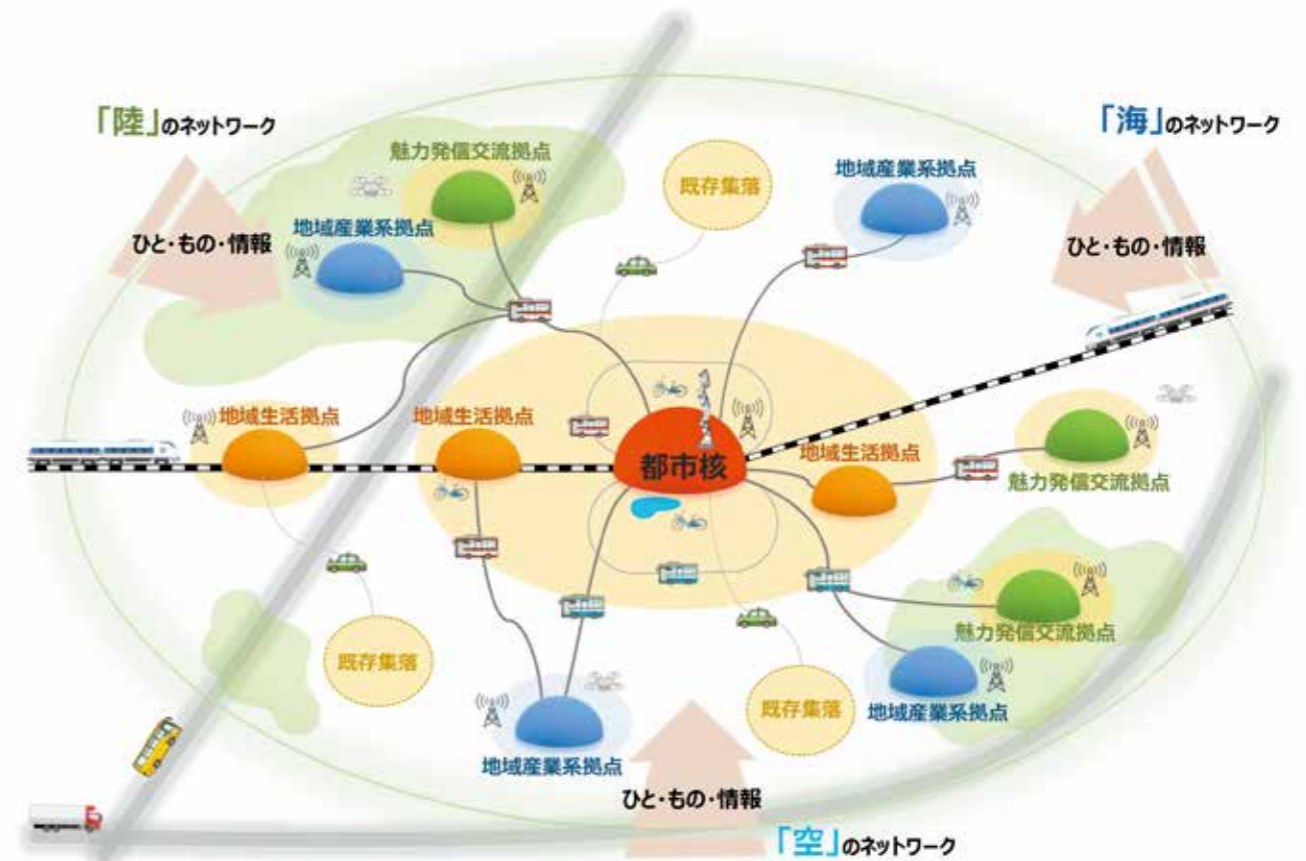
現在の都市基盤を有効に活用しながら、都市核を中心に、既存の地域生活拠点、地域産業系拠点、魅力発信交流拠点との連携性を高め、それぞれの特性にあわせた都市機能、居住機能の充実を図る

# 都市空間整備構想

将来都市像の実現を都市空間の視点から示すものです。以下の4つの視点から、「水戸らしい地域拠点ネットワーク型コンパクトシティ」の構築を目指します。

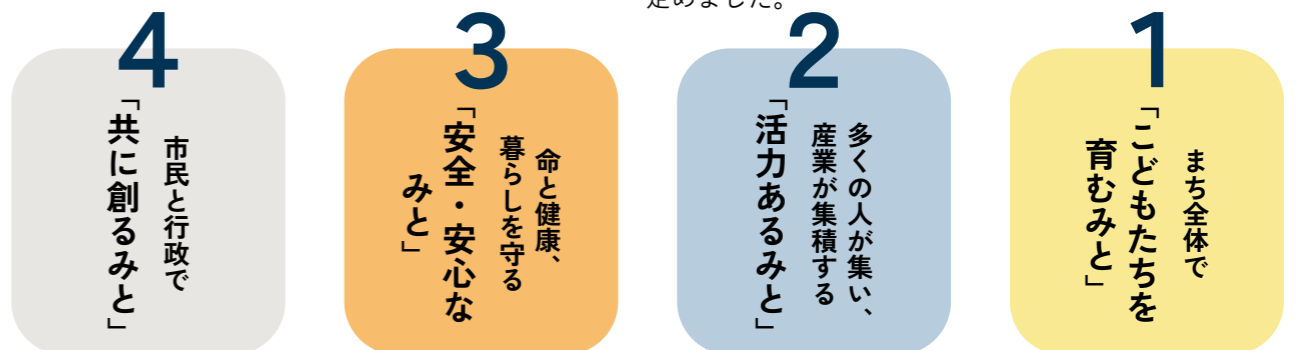
- 都市核・拠点への都市機能の集積と連携強化・充実
- 自然を生かした環境負荷の少ない都市空間づくり
- 災害に強い都市基盤づくり
- 楽しめる交流拠点づくり

「水戸らしい地域拠点ネットワーク型コンパクトシティ」概念図



# 施策の大綱

将来都市像の実現に向け、施策の大綱を以下のとおり、決めました。



※8～9ページで、具体的な施策を紹介しています。

基本構想に位置付けた施策の大綱に基づき、分野ごとの到達を目指す目標水準や具体的施策を定めました。

## 3 命と健康、暮らしを守る「安全・安心なみと」

### 1 健やかに暮らせる環境づくり

- 日頃からの健康づくりの推進
- デジタル技術を活用した健康づくり
- 自殺対策の推進
- 安定的な医療提供体制の維持・確保
- 小児医療・周産期医療体制の確保
- 健康危機管理対策の充実
- 動物愛護の意識の普及・啓発



### 2 支えあい、助けあう社会の実現

- 地域福祉推進体制の充実
- 地域包括ケアシステムの構築
- 認知症施策の推進
- 高齢者の健康づくりの充実
- 障害福祉サービスなどの充実
- 介護サービスの安定的な供給
- こどもの学習・生活支援の充実



### 3 災害に強いまちの構築

- 市民協働による地域防災の推進
- デジタル技術を活用した災害情報の収集・伝達の強化
- 那珂川水系流域治水プロジェクトの促進
- 重点的な雨水排水施設の整備
- 火災予防対策の推進
- 増大する救急需要への対策強化
- 消防・救急活動の拠点整備

### 4 暮らしを支える基盤の強化

- こどもの通学時などの安全対策の充実
- 空き家・空き地対策の強化
- 上下水道施設の長寿命化、耐震化・耐水化の推進
- 農業集落排水施設などの下水道施設への統合
- 暮らしに身近な道路の整備
- こどもが楽しく過ごせる公園リニューアル
- 既存住宅ストックの有効活用の促進
- 新たな斎場の整備



## 4 市民と行政で「共に創るみと」

### 1 市民が活躍するみとづくり

- 町内会・自治会への加入促進
- ボランティア団体、NPOなどとの協働事業の推進
- 女性が活躍できる環境づくり
- 若者との協働による政策立案の推進
- 課題解決型の民官共創の推進
- 水戸芸術館、市民会館を拠点とする芸術文化の創造・発信
- 東部公園の整備
- 消費者教育、啓発活動の推進

### 2 未来につなげるみとづくり

- 環境負荷の少ない都市づくり
- ごみの減量化・再資源化の推進
- 平和活動、国際交流・多文化共生の推進
- 県央地域の発展に向けた取組の推進
- 行政経営改革の推進
- 行政のデジタル化による市民サービスの向上
- まちのデジタル化の推進



## 1 まち全体で「こどもたちを育むみと」

### 1 こどもを生み育てやすい社会の実現

- 多様なニーズに対応した子育て支援サービスの充実
- 子育て世帯の交流拠点づくり
- 安心して預けられる環境づくりの推進
- 子育てしやすい住環境づくり
- 医療的ケア児に対する支援の推進
- こどもの発達支援の充実
- 子育て世帯が安心して働ける環境づくり
- 児童虐待防止対策の推進
- ヤングケアラー支援の推進



### 2 未来をリードするこどもたちの育成

- 水戸スタイルの教育の推進
- 不登校支援・教育相談体制の充実
- 一人一人の教育的ニーズを踏まえた特別支援教育の充実
- 地域との協働による魅力ある学校づくり
- 学校施設長寿命化改良事業
- 屋内運動場への空調設備設置
- こどもたちの多様な体験活動の促進



## 2 多くの人が集い、産業が集積する「活力あるみと」

### 1 地域経済をけん引する活力づくり

- 企業が立地しやすい環境づくり
- 若い世代の移住促進
- 誰もが働きやすい環境づくり
- 中小企業を支える人材の確保・育成
- 地域産業系拠点の機能強化・集積促進
- スマート農業の推進
- 農産物のブランド化の推進、販路拡大

### 2 水戸らしさを生かしたにぎわいの創出

- MitoriOを中心とした新たなにぎわいづくり
- まちづくりの新たなプレイヤーの発掘・支援
- インバウンド観光の推進
- 宿泊型・滞在型観光の推進
- コンベンションなどの誘致推進と開催支援
- 時代の変化に対応したシティプロモーションの推進
- 水戸の誇る食文化・伝統文化の発信

### 3 都市の活力とにぎわいを支える基盤の強化

- 都市核の機能強化
- 内原駅周辺の機能強化
- 都市計画道路の整備
- 利用しやすいバス路線の構築
- 公共交通におけるデジタル技術の活用に向けた取組の推進
- 公共交通空白地区などにおける移動支援
- シェアサイクル事業の充実

